

# The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2013年7月号 通巻55号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2013

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## タヌキは4本指、ハクビシンは5本指 ではアライグマは何本指？



タヌキ



ネコ



ハクビシン



アライグマ



アナグマ

※大きさの比率は正しくないので注意

タヌキの足跡については以前にも取り上げましたが、今回はハクビシンなどの足跡も紹介しましょう。

### 足跡を見分けるには

タヌキの足跡は4本指、イヌの足跡も4本指です。どちらもイヌ科に分類されるため、基本的な体のつくりは同じ、足跡の形もほぼ同じです。イヌもタヌキも前足は本当は5本指なのですが、5本目の指(親指)は地面には届かない位置にあるので足跡には残りません。ネコも4本指ですが、歩く時にはツメを引っ込めますので、足跡に爪跡は残りません。

さて、ハクビシンはと言いますと、5本指なのです。アライグマも5本指、そしてアナグマも5本指です。どれもこれも5本指ですが、どう見分ければいいのでしょうか。

一番わかりやすいのはアナグマです。アナグマのツメは大きいため、足跡でもはっきりとわかるでしょう。次にわかりやすいのはアライグマです。アライグマの足跡は指が長

い形をしています。まるで人間の手の形のように見えることすらあります(大きさは人間よりずっと小さいです)。どちらにも当てはまらなければハクビシンだろうと推測できます。ちなみにイタチの仲間も5本指です。ハクビシン、アライグマの後足は、立ち止まった時にかかとまで接地するため縦に細長い特徴的な足跡になることがあります。

こういったことすべてを記憶するのは難しいでしょうから、足跡の図をまとめた本は手元に持っておきたいものです。現在入手しやすいものとしては、著・今泉忠明「アニマルトラック&バードトラックハンドブック」(自由国民社)という本があります。

### こんな所にも足跡が!?

都会では土が露出した場所が少ないため、足跡はなかなか見つからないものです。が、時には意外な場所に足跡が残ることがあります。それはベランダの手すりです。もし屋根

やベランダに何か動物が来ているようだ…と思ったならば、ベランダの手すりをよく観察してみてください。うっすらと足跡が残っていることがあるのです。こういう場所に来るのはたいていハクビシンかアライグマです。足跡をよく見れば5本指であることが確認できるかもしれません。ハクビシンとアライグマは木や壁を登ったりするため、木の幹や木製の壁に爪跡がはっきりと残ることがあります。

足跡を見つけたならば写真も撮っておきましょう。はっきりとは写らなくてもPhotoshopなどで加工することにより輪郭を明瞭にできる場合もあります。

### スポンサー枠

スポンサー募集中です!

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>